

参考資料（図表写真の目次）

図 の 目 次		
図 1-1	水循環のイメージ	1
図 1-2	本計画の位置付け	3
図 1-3	計画の構成	4
図 2-1	徳島県の主な河川位置図	6
図 2-2	徳島県の沿岸域	8
図 2-3	徳島県の地質構造図	10
図 2-4	徳島県の地形区分図	10
図 2-5	徳島の年平均気温（1981～2010年）	11
図 2-6	徳島地方気象台におけるの年平均気温の経年変化（1891～2017）	12
図 2-7	世界平均海面水位の変化	12
図 2-8	徳島の年降水量（1981～2010年）	13
図 2-9	我が国の年降水量偏差	14
図 2-10	日降水量100mm以上の年間日数の経年変化	15
図 2-11	日降水量1.0mm以上の年間日数の経年変化	15
図 2-12	徳島県における人口推移と人口推計	16
図 2-13	「とくしま人口ビジョン」における将来展望	16
図 2-14	徳島県の人口密度	17
図 2-15	徳島県の土地利用区分図	18
図 2-16	徳島及び全国の産業別人口	19
図 2-17	森林の分布	21
図 2-18	森林管理形態の割合	21
図 2-19	企業集積の推移	24
図 2-20	光の八十八ヶ所めぐり	25
図 2-21	水道施設の年間取水量(平成28年度)	26
図 2-22	水道施設の1日当たりの平均取水量	27
図 2-23	農作物の作付面積	27
図 2-24	1日当たりの工業用水の水源別構成比	27
図 2-25	1日当たりの工業用水の産業中分類別の使用水量構成比	27
図 3-1	県内の主な洪水遺産位置図	35
図 3-2	那賀川筋平面図	46
図 3-3	津波碑位置図	47
図 3-4	県内の主な文化及び景勝地位置図	48
図 3-5	藍とくしまのロゴマーク	50
図 3-6	ダム・堰の位置図	77
図 4-1	条例の構成	80
図 4-2	9月1日～3日合計雨量と台風経路図	83
図 4-3	9月14日～16日合計雨量と木頭毎時雨量、小松島検潮記録	84
図 4-4	7月30日～8月2日合計雨量と台風経路図	85
図 4-5	10月19日～20日合計雨量と台風経路図	86
図 4-6	8月7日～10日合計雨量と台風経路図	87
図 4-7	7月15日～17日合計雨量と台風経路図	90
図 4-8	平成27年台風第11号における那賀川水系那賀川の状況	90
図 4-9	平成27年台風第11号における那賀川水系桑野川の状況	91
図 4-10	6月28日～7月8日の期間降水量、期間最大風速の分布	92
図 4-11	短時間強雨発生回数の長期変化	93

図4-1-2	河川整備延長	95
図4-1-3	土砂管理のイメージ図	98
図4-1-4	四国地域の活断層で発生する地震の評価	99
図4-1-5	南海トラフ巨大地震の被害想定結果 (震度分布図、液状化危険度分布図、徳島県津波浸水想定)	101
図4-1-6	中央構造線・活断層地震の被害想定結果(震度分布、液状化危険度分布)	101
図4-1-7	徳島県の土地利用区分図の変化	102
図4-1-8	適切な安全確保行動につながる情報	104
図4-1-9	浸水想定区域の指定	104
図4-2-0	土砂災害警戒区域の指定	104
図4-2-1	平成17年濁水における長安ロダムの取水制限の効果	107
図4-2-2	年別設置ダム数	107
図4-2-3	徳島県内のダム	108
図4-2-4	長安ロダムの計画堆砂量と累計堆砂量	109
図4-2-5	長安ロダムにおける年間降水量	110
図4-2-6	日本の温室効果ガス排出量の算定結果	111
図4-2-7	地域別降水量及び水資源賦存量	112
図4-2-8	無降水日の年間日数の変化	113
図4-2-9	日降水量100mm以上の1地点あたりの発生回数の変化	113
図4-3-0	平成29年 濁水における全国の取水制限の状況(一級水系)	114
図4-3-1	最小年間水資源賦存量の変化傾向	115
図4-3-2	新町川における水質変化	116
図4-3-3	耕作放棄地面積の推移	118
図4-3-4	荒廃農地面積(全国)の推移	118
図4-3-5	本県の保安林(民有林)の面積の推移と目標値	119
図4-3-6	コウノトリ定着推進連絡協議会の活動	121, 122
図4-3-7	徳島県の水防(消防)団員数の推移	125
図5-1	取組事例位置図	132
図5-2	吉野川堤防における整備着手予定の区間位置図	135
図5-3	飯尾川平面図(吉野川市鴨島町～名西郡石井町～徳島市)	138
図5-4	飯尾川浸水区域図(平成16年10月台風第23号)	138
図5-5	ゲート放流イメージ図	141
図5-6	長安ロダム容量配分図	142
図5-7	選択取水のイメージ(左:取水設備、右:選択取水)	142
図5-8	長安ロダムにおける貯水池機能保全対策のイメージ	143
図5-9	貯水池機能保全対策による貯水池容量配分図の変更	144
図5-10	福井川洪水タイムライン(案)	147
図5-11	事前濁水行動計画(那賀川・春濁水)	148
図5-12	取組事例位置図	150
図5-13	協働の森づくりの仕組み	153
図5-14	「那賀川かわまちづくり」の整備内容	155
図5-15	徳島県の大規模氾濫減災協議会	156
図5-16	西部健康防災公園に整備される防災拠点	157
図5-17	平成24年公表の津波浸水想定図	158
図5-18	津波災害警戒区域図	158
図5-19	河川環境学習の実施状況(平成23年度～平成29年度)	159
図5-20	取組事例位置図	163
図6-1	目指すべき将来像と計画の体系	165
図8-1	「未来へ紡ぐOUR(あわ)の水会議」の構成	290
図8-2	流域水管理計画の体系	290

図 8-3	流域毎に設立する協議会	291
図 8-4	流域水管理計画のロードマップ	292
図 8-5	進捗管理のイメージ	292

表 の 目 次

表 2-1	徳島県の河川数及び河川延長	6
表 2-2	一級水系における流域面積、幹線流路延長、基本高水ピーク流量のランキング	7
表 2-3	徳島県の海岸線及び保全区域延長	8
表 2-4	ブランド品目	20
表 2-5	収穫量が全国上位の魚類等（平成28年）	22
表 2-6	京都市中央卸売市場における県産ハモの取扱量	23
表 2-7	水の名所	33
表 4-1	本県における過去の主な洪水と被害（昭和以降）	81, 82
表 4-2	全国の近年の代表的な水害	93, 94
表 4-3	避難勧告・避難指示に関するアンケート調査結果	104
表 4-4	最近10年間における吉野川の取水制限状況	105
表 4-5	最近10年間における那賀川の取水制限状況	106
表 4-6	最近10年間における徳島県治水対策本部の設置状況	106
表 4-7	水質に係る環境基準の適合状況の推移	117
表 4-8	改訂徳島県版レッドリスト 選定結果一覧	121
表 6-1	流域水管理プランとSDGsの関係	169
表 8-1	多様な主体と連携した施策	293, 294, 295

写 真 の 目 次

写真 1-1	阿波正藍しじら織	2
写真 1-2	田中家（名西郡石井町）の上げ舟	2
写真 2-1	三大河川シンポジウム2017（安楽寺（美馬市美馬町））	7
写真 2-2	なると金時	20
写真 2-3	にんじん	20
写真 2-4	すだち	20
写真 2-5	シンポジウム	20
写真 2-6	阿波尾鶏	20
写真 2-7	鳴門わかめ	20
写真 2-8	鳴門わかめ	23
写真 2-9	ハモ	23
写真 2-10	ハモ料理	23
写真 2-11	新町川水際公園【光の八十八ヶ所】（徳島市南内町・東船場町）	25
写真 2-12	春日橋【文化を伝承する藍の落水】（徳島市藍場町）	25
写真 2-13	徳島県の主な観光資源	29, 30
写真 2-14	ひょうたん島航空写真	31
写真 2-15	ひょうたん島クルーズ	32
写真 2-16	とくしまマルシェ（徳島市東船場町）	32
写真 3-1	徳島県の河川（左上：吉野川、右上：那賀川、左下：勝浦川、右下：海部川）	34
写真 3-2	田中家【国指定重要文化財】（名西郡石井町藍畑）	36
写真 3-3	太刀野の竹林（三好市三野町）	37
写真 3-4	高地蔵（愛宕地蔵）（名西郡石井町藍畑）	38

写真3-5	うつむき地藏（徳島市国府町東黒田）	38
写真3-6	田中家住宅の吊り舟（名西郡石井町藍畑）	39
写真3-7	八幡神社拝殿と吊り舟（阿波市市場町）	39
写真3-8	藤森堤（美馬郡つるぎ町貞光）	40
写真3-9	蓬庵堤（徳島市名東町）	40
写真3-10	産神社印石（名西郡石井町藍畑）	42
写真3-11	渚ヶ上堤防印石（鳴門市大津町）	42
写真3-12	蔵珠院茶室の痕跡（徳島市国府町芝原）	43
写真3-13	洪水痕跡碑（徳島市国府町芝原）	43
写真3-14	善入寺島全景（阿波市市場町・吉野川市川島町）	45
写真3-15	善入寺島移転の碑	45
写真3-16	島内の菜の花の風景	45
写真3-17	島内のひまわりの風景	45
写真3-18	粟島小学校跡碑	45
写真3-19	古毛の水刃岩（阿南市羽ノ浦町古毛）	46
写真3-20	現在的那賀川・岡川の流れ（阿南市下大野町渡り上り）	46
写真3-21	藍葉	49
写真3-22	阿波しじら織	49
写真3-23	藍の館（板野郡藍住町徳命）	50
写真3-24	阿波人形浄瑠璃	51
写真3-25	阿波十郎兵衛屋敷（徳島市川内町宮島）	51
写真3-26	農村舞台	51
写真3-27	三味線とバイオリンを弾き歩く大正頃の踊り	52
写真3-28	藍倉が並ぶ船場町（大正・昭和初期）（徳島市西船場町）	53
写真3-29	現在の船場町（徳島市西船場町）	53
写真3-30	眉山	54
写真3-31	錦竜水	54
写真3-32	眉山山頂からの夜景（徳島市眉山町）	54
写真3-33	うだつの町並み（美馬市脇町）	54
写真3-34	二層うだつの町並み（美馬郡つるぎ町貞光）	55
写真3-35	阿波うだつの家（三好市池田町本通）	55
写真3-36	阿波手漉和紙	56
写真3-37	和三盆糖	56
写真3-38	丸山徳弥の碑（板野郡上板町引野）	56
写真3-39	たらいうどん（阿波市土成町宮川内）	57
写真3-40	祖谷そば	58
写真3-41	祖谷のかずら橋（三好市西祖谷山村善徳）	58
写真3-42	奥祖谷 二重かずら橋（三好市東祖谷名頃）	58
写真3-43	大歩危・小歩危（三好市山城町）	59
写真3-44	江川の湧水（吉野川市鴨島町）	60
写真3-45	美濃田の淵（三好郡東みよし町足代）	60
写真3-46	黒沢湿原（三好市池田町漆川）	61
写真3-47	鷺敷ライン（那賀郡那賀町百合細渚～田野）	62
写真3-48	ラフティング	62
写真3-49	太龍寺（阿南市加茂町瀧山）	62
写真3-50	太龍寺ロープウェイ（那賀郡那賀町和食郷）	62
写真3-51	大浜海岸（海部郡美波町日和佐浦）	63
写真3-52	日和佐うみがめ博物館カレッタ（海部郡美波町大浜海岸）	63
写真3-53	二重の滝（海部郡海陽町平井）	64
写真3-54	轟本滝（海部郡海陽町平井）	64

写真3-55	轟神社祭り（海部郡海陽町平井）	64
写真3-56	鮎釣り（海部郡海陽町）	65
写真3-57	河口部でのサーフィン（海部郡海陽町）	65
写真3-58	せり割岩（海部郡海陽町）	66
写真3-59	オオウナギ	66
写真3-60	ほたる祭りの高瀬舟（海部郡海陽町）	66
写真3-61	松ヶ磯（海部郡牟岐町灘下浜辺）	66
写真3-62	大川原高原の風車（名東郡佐那河内村上）	67
写真3-63	平等寺（阿南市新野町秋山）	67
写真3-64	白水の井戸（阿南市新野町秋山）	67
写真3-65	帆を上げ航行する平田船	68
写真3-66	岩津渡しと岡田式渡船	70
写真3-67	眉山と吉野川橋	71
写真3-68	脇町潜水橋（美馬市脇町）	71
写真3-69	第十堰（名西郡石井町藍畑～板野郡上板町第十新田）	73
写真3-70	麻名用水（吉野川市川島町～名西郡石井町）	74
写真3-71	袋井用水（徳島市鮎喰町）	75
写真3-72	大井手堰跡の碑（阿南市羽ノ浦町古毛）	76
写真3-73	北岸堰（阿南市羽ノ浦町古毛）	76
写真3-74	県内におけるダム・堰	78
写真3-75	ダムカード	79
写真4-1	平成16年台風第10号における地滑りの状況写真 （左：大用知地区、右：阿津江地区）	85
写真4-2	平成16年台風第23号における洪水状況写真 （左：美馬市脇町、右：吉野川市鴨島町）	86
写真4-3	平成26年台風第11号における浸水地区の写真	88
写真4-4	平成26年台風第11号における那賀川の流況	89
写真4-5	平成27年台風第11号における洪水状況写真（那賀町）	91
写真4-6	平成30年7月豪雨時の状況（左：白川谷川、右：仏子谷川）	92
写真4-7	河道の二極化（海部川）	96
写真4-8	護岸の補修状況（那賀川）	97
写真4-9	排水機場の点検状況（左：主ポンプの点検、右：主ポンプ操作盤の点検）	97
写真4-10	堤体の液状化発生状況	100
写真4-11	津波による冠水・排水対策の状況	100
写真4-12	平成17年渇水時の早明浦ダム（貯水率0%）	105
写真4-13	長安口ダムの貯水池の状況（平成17年）	105
写真4-14	農業用水の取得困難個所の状況（平成17年）	105
写真4-15	へドロが堆積している時の新町川（助任川）の様子	116
写真4-16	荒廃する人工林	118
写真4-17	鬱蒼と生い茂った状況（宮川内谷川）	123
写真4-18	不法投棄（吉野川）	123
写真4-19	ウォータースポーツの世界大会	124
写真4-20	水質事故の発生	126
写真4-21	東日本大震災時の舟艇流出による二次被害	126
写真4-22	ジュニア浄瑠璃フェスティバル（犬飼農村舞台（徳島市））	128
写真4-23	洪水遺産の見学会	128, 129
写真4-24	環境学習	130
写真4-25	小水力発電所での現地見学会	130
写真4-26	排水ポンプ車の見学	131
写真4-27	水防技術体験（ロープワーク）	131

写真5-1	平成16年台風第23号襲来時の浸水状況（美馬市脇町）	133
写真5-2	堤防整備状況（美馬市脇町）	133
写真5-3	堤防整備状況（三好市三野町）	134
写真5-4	早明浦ダム放流設備増設のイメージ（高知県長岡郡本山町～土佐郡土佐町）	136
写真5-5	角ノ瀬排水機場の整備状況（徳島市国府町）	137
写真5-6	飯尾川第二樋門の改築状況（徳島市春日町）	137
写真5-7	飯尾川の改修	139
写真5-8	平成16年台風第23号襲来時の浸水状況（阿南市深瀬町）	140
写真5-9	堤防整備状況	140
写真5-10	長安口ダム改造の状況（那賀郡那賀町）	141
写真5-11	土砂還元による河川環境の改善効果	144
写真5-12	堤防整備のイメージ（阿南市加茂町）	145
写真5-13	堤防整備のイメージ（那賀郡那賀町和食～土佐）	145
写真5-14	整備実施状況（旧吉野川）	146
写真5-15	高い品質を確保する手入れ砂（イメージ）	146
写真5-16	利水サポート団体の認定	149
写真5-17	利水サポート団体による活動の例	149
写真5-18	護岸の整備状況と利用状況（徳島市南内町・東船場町）	151
写真5-19	護岸の整備状況と利用状況（板野郡北島町高房）	152
写真5-20	川の魅力を堪能する活動状況	152
写真5-21	とくしま協働の森づくりの活動	154
写真5-22	シカの食害を防ぐチューブの設置	154
写真5-23	レンコン畑でのコウノトリ（鳴門市大津町）	154
写真5-24	大規模氾濫減災協議会の取組内容	156, 157
写真5-25	那賀川上下流交流（那賀川源流碑開き）	159
写真5-26	吉野川上下流交流大会	160
写真5-27	学習会の内容	160, 161
写真5-28	徳島じょうりクルーズ	161
写真5-29	まるごと吉野川“魅力再発見”講座の状況 平成30年第1回講座（左：阿波人形浄瑠璃の鑑賞、右：講演会）	162
写真5-30	川を活かした“とくしま”の魅力を発信する取組の事例	164

参考資料（用語集）

<目次>

あ 行		
IoT 【あいおーていー】	資-12	沿川農地 【えんせんのうち】 資-14
ICT 【あいしーていー】	資-12	温室効果ガス 【おんしつこうかがす】 資-14
青石 【あおいし】	資-12	
アドプト・プログラム 【あどぷと・ぷろぐらむ】	資-12	
雨水貯留・浸透施設 【あまみずちよりゅう・しんとうしせつ】	資-12	
阿波正藍しじら織 【あわしょうあいしじらおり】	資-12	
OUR リバーアドプト 【あわーりばーあどぷと】	資-12	
維持流量 【いじりゅうりょう】	資-12	
異常洪水時防災操作 【いじょうこうずいじぼうさいそうさ】	資-12	
一級河川 【いっきゅうかせん】	資-12	
一級水系 【いっきゅうすいけい】	資-13	
溢水 【いっすい】	資-13	
ウェルかめ 【うえるかめ】	資-13	
右岸 【うがん】	資-13	
うだつ 【うだつ】	資-13	
打ち水 【うちみず】	資-13	
雨量計 【うりょうけい】	資-13	
液状化 【えきじょうか】	資-13	
エコライフ 【えこらいふ】	資-13	
SS（浮遊物質量） 【えすえす（ふゆうぶつしつりょう）】	資-13	
越水 【えっすい】	資-13	
越流水 【えつりゅうすい】	資-13	
LED バレイ構想 【えるいーでいーばれいこうそう】	資-13	
塩害 【えんがい】	資-13	
		か 行
		カーボンオフセット 【かーぼんおふせつと】 資-14
		海岸保全施設 【かいはんほぜんしせつ】 資-14
		海溝型地震 【かいこうがたじしん】 資-14
		海水淡水化 【かिसuitんすいか】 資-14
		外水氾濫 【がいすいはんらん】 資-14
		海部川清流保全条例 【かいふがわせいりゅうほぜんじょうれい】 資-14
		カイクポイント 【かいふぼいんと】 資-14
		外来生物 【がいらいせいぶつ】 資-14
		家屋倒壊危険区域 【かおくとうかいきけんくいき】 資-14
		河岸侵食 【かがんしんしょく】 資-14
		加減堰 【かげんせき】 資-15
		河口 【かこう】 資-15
		河床掘削 【かしょうくっさく】 資-15
		河川管理施設 【かせんかんりしせつ】 資-15
		河川整備基本方針 【かせんせいびきほんほうしん】 資-15
		河川等出水警戒区域 【かせんとうしゅつすいけいかいくいき】 資-15
		濁水被害 【かつすいひがい】 資-15
		合併浄化槽 【がっぺいじょうかそう】 資-15
		河道掘削 【かどうくっさく】 資-15
		仮橋 【かりばし】 資-15
		川表 【かわおもて】 資-15
		かわまちづくり 資-15
		灌漑 【かんがい】 資-15

環境基準 【かんきょうきじゅん】	資-15	降水量 【こうすいりょう】	資-17
環境用水 【かんきょうようすい】	資-15	高水敷 【こうすいじき】	資-17
観光放流 【かんこうほうりゅう】	資-15	護岸 【ごがん】	資-17
刻みタバコ 【きざみたばこ】	資-16		
吃水 【きっすい】	資-16	さ 行	
木頭杉 【きとうすぎ】	資-16	災害 【さいがい】	資-18
基本高水 【きほんたかみず】	資-16	再生可能エネルギー 【さいせいかのうえねるぎー】	資-18
急傾斜地崩壊 【きゅうけいしゃちほうかい】	資-16	再生水 【さいせいすい】	資-18
局所洗掘 【きょくしょせんくつ】	資-16	最大クラスの津波 【さいだいくらすのつなみ】	資-18
管流し 【くだながし】	資-16	境木 【さかいぎ】	資-18
国指定重要文化財 【くにしていじゅうようぶんかざい】	資-16	左岸 【さがん】	資-18
国指定重要有形民俗文化財 【くにしていじゅうようゆうけいみんぞくぶんかざい】	資-16	砂州 【さす】	資-18
クラウドデータベース 【くらうどでーたべーす】	資-16	サバイバルマウンド 【さばいばるまうんど】	資-18
グリーンインフラ 【ぐりーんいんふら】	資-16	砂防堰堤 【さぼうえんてい】	資-18
計画高水位 【けいかくこうすい】	資-16	COD 【しーおーでいー】	資-18
計画津波 【けいかくつなみ】	資-16	四国三大祭り 【しこくさんだいまつり】	資-18
計画津波高 【けいかくつなみだか】	資-16	四国のみずべ八十八カ所 【しこくのみずべはちじゅうはっかしょ】	資-18
結晶片岩 【けっしょうへんがん】	資-16	四国八十八景 【しこくはちじゅうはっけい】	資-18
顕彰碑 【けんしょうひ】	資-17	地すべり 【じすべり】	資-19
源流 【げんりゅう】	資-17	支川 【しせん】	資-19
洪水 【こうずい】	資-17	事前濁水行動計画 【じぜんかつすいこうどうけいかく】	資-19
洪水遺産 【こうずいいさん】	資-17	事前防災行動計画(タイムライン) 【じぜんぼうさいこうどうけいかく(たいむらいん)】	資-19
洪水浸水想定区域図 【こうずいしんすいそうていくいきず】	資-17	事前放流 【じぜんほうりゅう】	資-19
洪水調節 【こうずいちょうせつ】	資-17	社会資本整備重点計画 【しゃかいしほんせいびじゅうてんけいかく】	資-19
洪水調節施設 【こうずいちょうせつしせつ】	資-17	遮水壁 【しやすいへき】	資-19
洪水調節容量 【こうずいちょうせつようりょう】	資-17		
洪水吐ゲート 【こうずいばきげーと】	資-17		
洪水予報 【こうずいよほう】	資-17		

11 大橋梁架設計画 【じゅういちだいきょうりょうかせつけいかく】	資-19	生態系ネットワーク 【せいたいけいねっとわーく】	資-21
重要水防箇所 【じゅうようすいぼうかしょ】	資-19	生物多様性 【せいぶつたようせい】	資-21
重要伝統的建造物群保存地区 【じゅうようでんとうてきけんぞうぶつぐんほぞんちく】	資-19	堰 【せき】	資-21
取水施設 【しゅすいしせつ】	資-19	洗掘 【せんくつ】	資-21
取水制限 【しゅすいせいげん】	資-19	全国水の郷サミット 【ぜんこくみずのさとさみっと】	資-21
樹林地 【じゅりんち】	資-19	線状降水帯 【せんじょうこうすいたい】	資-21
準用河川 【じゅんようかせん】	資-20	潜水橋 【せんすいきょう】	資-22
小水力発電 【しょうすいりょくはつでん】	資-20	選択取水設備 【せんたくしゅすいせつび】	資-22
シルトフェンス 【しるとふえんす】	資-20	送水施設 【そうすいしせつ】	資-22
人工林 【じんこうりん】	資-20	た 行	
親水護岸 【しんすいごがん】	資-20	体験型観光 【たいけんがたかんこう】	資-22
森林環境税 【しんりんかんきょうぜい】	資-20	耐震診断 【たいしんしんだん】	資-22
水位計 【すいけい】	資-20	高潮 【たかしお】	資-22
水系 【すいけい】	資-20	滝水御番 【たきみずごばん】	資-22
水源かん養機能 【すいげんかんようきのう】	資-20	多自然川づくり 【たしぜんかわづくり】	資-22
水源林 【すいげんりん】	資-20	ダム 【だむ】	資-22
水道施設 【すいどうしせつ】	資-20	ダム貯水率 【だむちょすいりつ】	資-22
水防管理者 【すいぼうかんりしゃ】	資-20	ため池ハザードマップ 【ためいけはざーどまっぷ】	資-22
水防団 【すいぼうだん】	資-20	太夫座 【たゆうざ】	資-22
水門 【すいもん】	資-20	地下水 【ちかすい】	資-22
水利施設 【すいりしせつ】	資-21	地下水かん養 【ちかすいかんよう】	資-22
薬 【すくも】	資-21	治山堰堤 【ちさんえんてい】	資-23
スポーツツーリズム 【すぽーつつーりずむ】	資-21	治水 【ちすい】	資-23
生活排水処理施設 【せいかつはいすいしゅりしせつ】	資-21	治水ダム 【ちすいだむ】	資-23
生態系 【せいたいけい】	資-21	治水容量 【ちすいようりょう】	資-23
生態系サービス 【せいたいけいさーびす】	資-21	中央構造線活断層帯 【ちゅうおうこうぞうせんかつだんそうたい】	資-23
		チューブライド 【ちゅーぶらいど】	資-23
		直下型地震 【ちよっかがたじしん】	資-23
		津波 【つなみ】	資-23

堤防 【ていぼう】	資-23
デルタ地帯 【でるたちたい】	資-23
天井川 【てんじょうがわ】	資-23
天端 【てんば】	資-23
天文潮位 【てんもんちょうい】	資-23
透水性舗装 【とうすいせいほそう】	資-23
とくしま藍の日 【とくしまあいのひ】	資-23
とくしま県版保安林 【とくしまけんばんほあんりん】	資-24
とくしま人口ビジョン 【とくしまじんこうびじょん】	資-24
とくしまマルシェ 【とくしままるしえ】	資-24
とくしま水紀行 50 選 【とくしまみずきこうごじゅっせん】	資-24
とくしま林業アカデミー 【とくしまりんぎょうあかでみー】	資-24
土佐流材 【とさりゅうざい】	資-24
土砂生産域 【どしゃせいさんいき】	資-24
土石流 【どせきりゅう】	資-24
突堤 【とつてい】	資-24
土のう 【どのう】	資-24

な 行

内水氾濫 【ないすいはんらん】	資-24
内陸型地震 【ないりくがたじしん】	資-24
二級河川 【にきゅうかせん】	資-24
二次災害 【にじさいがい】	資-25
日本三大盆踊り 【にほんさんだいぼんおどり】	資-25
日本の重要湿地 500 【にほんのじゅうようしちごひゃく】	資-25
日本の滝百選 【にほんのたきひゃくせん】	資-25
日本の渚百選 【にほんのなぎさひゃくせん】	資-25

人形座 【にんぎょうざ】	資-25
人間システム 【にんげんしすてむ】	資-25
根固 【ねがため】	資-25
農村舞台 【のうそんぶたい】	資-25
法尻 【のりじり】	資-25
法面 【のりめん】	資-25

は 行

排水機場 【はいすいきじょう】	資-25
排水ポンプ車 【はいすいぽんぷしゃ】	資-25
パゴダ 【ぱごだ】	資-25
ハザードマップ 【はざーどまっぷ】	資-26
バックビルディング現象 【ばっくびるでいんぐげんしょう】	資-26
原土 【はらし】	資-26
氾濫危険水位 【はんらんきけんすい】	資-26
氾濫原 【はんらんげん】	資-26
氾濫シミュレーション 【はんらんしみゅれーしょん】	資-26
BOD(生物化学的酸素要求量) 【びーおーでいー(せいぶつかかくてきさんそようきゅうりょう)】	資-26
ヒートアイランド 【ひーとあいらんど】	資-26
避難確保計画 【ひなんかくほけいかく】	資-26
樋門 【ひもん】	資-26
ひょうたん島 【ひょうたんじま】	資-26
表流水 【ひょうりゅうすい】	資-26
平田船 【ひらたぶね】	資-26
日和佐うみがめ博物館カレッタ 【ひわさうみがめはくぶつかんかレッタ】	資-27
ファミリータイムライン 【ふぁみりーたいむらいん】	資-27
深掘れ 【ふかぼれ】	資-27
複合災害 【ふくごうさいがい】	資-27
不特定容量 【ふとくていようりょう】	資-27

フラッシュ放流 【ふらっしゅほうりゅう】	資-27
分水嶺 【ぶんすいれい】	資-27
平成の名水百選 【へいせいのみすいひゃくせん】	資-27
pH(水素イオン濃度) 【ペーはー(すいそいおんのうど)】	資-27
壁面緑化 【へきめんりょっか】	資-27
防災エキスパート制度 【ぼうさいえきすぱーとせいど】	資-27
防災教育 【ぼうさいきょういく】	資-27
放置艇 【ほうちてい】	資-27
放流能力 【ほうりゅうのうりょく】	資-28
ホットライン 【ほっとらいん】	資-28
本川 【ほんせん】	資-28

ま 行

マスタープラン 【ますたーぷらん】	資-28
濡筋 【みおすじ】	資-28
水管理 【みずかんり】	資-28
水教育 【みずきょういく】	資-28
水資源賦存量 【みずしげんふそんりょう】	資-28
水循環 【みずじゅんかん】	資-28
水文化 【みずぶんか】	資-28
ミズベリング 【みずべりんぐ】	資-28
水屋 【みずや】	資-28
水除け争い 【みずよけあらそい】	資-28
民俗文化財 【みんぞくぶんかざい】	資-29
民有林 【みんゆうりん】	資-29
無形文化財 【むけいぶんかざい】	資-29
撫養石 【むやいし】	資-29
名水百選 【めいすいひゃくせん】	資-29

や 行

有効貯水容量 【ゆうこうちよすいようりょう】	資-29
湧水 【ゆうすい】	資-29
遊水池 【ゆうすいち】	資-29
要配慮者利用施設 【ようはいりょしゃりょうしせつ】	資-29
養浜 【ようひん】	資-29
予備放流 【よびほうりゅう】	資-29

ら 行

ライフライン 【らいふらいん】	資-29
リアス式海岸 【リアスしきかいがん】	資-29
離岸堤 【りがんてい】	資-30
利水 【りすい】	資-30
利水安全度 【りすいあんぜんど】	資-30
利水サポート団体 【りすいさぽーとだんたい】	資-30
利水容量 【りすいようりょう】	資-30
陸間 【りっこう】	資-30
リバーアダプト 【りばーあどぷと】	資-30
流域 【りゅういき】	資-30
流域ツーリズム 【りゅういきつーりずむ】	資-30
流水エネルギー 【りゅうすいえねるぎー】	資-30
レッドリスト 【れっどリスト】	資-30
漏水 【ろうすい】	資-30
6次産業化 【ろくじさんぎょうか】	資-30

あ 行

IoT 【あいおーていー】 P171,191

「Internet of Things」の頭文字をとった単語で、「モノのインターネット」と呼ばれています。身の回りのあらゆるモノや様々な機器がインターネットにつながる仕組みのことをいいます。インターネットにつながることによって、膨大な情報が収集され、その情報を活用することにより、これまで以上に効率的できめ細やかな社会が実現します。

ICT 【あいしーていー】 P224

「Information and Communication Technology」の頭文字をとった単語で、コンピューターやインターネットなどの情報通信技術のことです。サービスやインフラをも含む幅広い意味を示していることもあります。徳島県では、毎年「ICT（愛して）とくしまフォーラム」を開催し、ICTを利活用した効果的な情報発信や先進事例から地域活性化について考えています。

青石 【あおいし】 P31,36,138,151,285

青または緑色の岩石のことをいいます。^{りよく}緑泥片岩^{でいんかん}などがあり、庭石に使われます。徳島県内では、眉山など山間部や河川敷などで見ることができ、良質な青石として「阿波青石」の名で知られています。

アドプト・プログラム 【あどぷと・ぷろぐらむ】 P122,244

地域のボラティア団体と行政が話し合い、道路や河川などのある一定の範囲を決めて、その範囲をボランティア団体が清掃し、行政はそれを支援するまちの美化を行うプログラムです。アドプトは養子縁組という意味で、地域のインフラとボランティア団体とを縁組することにより、愛着をもって、町をきれいにする意識が働くことが期待されています。徳島県では、全国に先駆けて吉野川や神山町の道路などで行われ、大きな成果を上げています。

雨水貯留・浸透施設 【あまみずちよりゆう・しんとうしせつ】 P170,177,222,228,294

雨水を一時的に貯めたり地下に浸透させることで、下水道・河川への雨水流出量を抑制する

施設のことをいいます。雨水貯留施設には、公園や校庭などの広く平坦な地表面に貯留するものや、タンクや貯留槽を設置し、貯留水を散水などに利用するものがあります。また、浸透施設には、排水ますの底を砕石で敷き詰め浸透するようにした浸透ますや、透水性の舗装などがあります。浸透施設では、雨水流出抑制だけでなく、地下水かん養にも効果があります。

阿波正藍しじら織 【あわしょうあいしじらおり】 P2,28

18世紀から阿波で生産されていた「阿波しじら織」を「阿波藍」で染めたものをいいます。「阿波しじら織」の特徴は、シボという独特の凹凸で、縦糸と横糸の本数と組み合わせによる張力差により生み出されています。昭和53年7月に天然の阿波染料を使用した阿波しじら織が「阿波正藍しじら織」として、経済産業大臣指定伝統工芸品に指定され、平成22年には、とくしま市民遺産にも選定されています。

OUR リバーアドプト 【あわーりばーあどぷと】 P65

本県が管理している河川を清掃するアドプト・プログラムのことをいいます。徳島県内に所在地を有する団体又は企業が100メートル以上の距離を担当し、年に3回以上清掃を行います。

維持流量 【いじりゅうりょう】 P223,240,294

流水の清潔の保持、塩害の防止、動植物の生息地又は生育地の状況、景観等を考慮し、維持すべき流量のことをいいます。

異常洪水時防災操作 【いじょうこうずいじぼうさいそうさ】 P92

計画規模を越える洪水時におけるダムでの操作で、ダムの水位が、洪水時最高水位（サーチャージ水位）を超えると予測された場合に、ダムからの放流量をダムに流入する量まで増加させる操作のことをいいます。

一級河川 【いっきゅうかせん】 P6,7,95,138

国土保全上または国民経済上、特に重要な水系に係る河川のうち河川法による管理を行う必要があります。国土交通大臣が指定した河川のことをいいます。

一級水系 【いっきゅうすいけい】 P5,7,114

同じ流域内に流れる本川、支川などをまとめて水系といいます。国土交通大臣が国土保全上または国民経済上特に重要として指定した水系で、全国には109水系が指定されており、県内には吉野川と那賀川の2水系が指定されています。

溢水 【いっすい】 P80,88

堤防のないところの掘込河川等の水があふれ出すことをいいます。

ウェルかめ 【うえるかめ】 P63

平成21年9月28日から平成22年3月27日まで放送された81作目のNHK朝の連続テレビ小説のことをいいます。徳島県美波町を中心として徳島市、阿南市などを舞台としています。

右岸 【うがん】 P17,40,46,65,102,137,139,156

川の上流から下流方向を見た時に、右側にある岸のことをいいます。

うだつ 【うだつ】 P28,48,54,55

日本家屋の屋根に取り付けられる小柱、防火壁、装飾のことをいいます。本来、町屋が隣り合い連続して建てられている場合に、隣家からの火事が燃え移るのを防ぐための防火壁として造られたものですが、江戸時代中期頃になると装飾的な意味に重きが置かれるようになります。

打ち水 【うちみず】 P267,280

道や庭先などに水をまくこと、またその水のことをいいます。水が蒸発する際の気化熱の働きで周囲の温度を下げることから、夏の節電対策、暑さ対策として有効です。

雨量計 【うりょうけい】 P196,286

降雨量を観測する測器のことをいいます。基本的な測定方法は、漏斗型じょうごがたの受水器（日本では直径20センチメートルのものが標準的）を用いて降水を機器内に導き、その量を測ることで降水量を求めます。天気予報の他、河川の氾濫や土砂災害の発生予測などのために、多くの雨量計が設置されています。

液状化 【えきじょうか】

P99~101,110,145,146,183

埋立地等の水分を多く含んだ砂質土層が、地震の揺れによって、支えあっている砂の粒子がばらばらになり、水に浮いたような状態、液状になってしまう現象のことをいいます。液状化が発生すると、地盤の低下、マンホールの浮き上がり、建築物の傾き・転倒等の被害が発生します。

エコライフ 【えこらいふ】 P278

地球温暖化をはじめとする様々な環境問題への取組として行う、環境にやさしい、環境負荷の少ない生活スタイルをいいます。

SS（浮遊物質） 【えすえす（ふゆうぶつしょう）】 P230

水中に浮遊する粒子径2ミリメートル以下の不溶解性物質のことをいいます。日本では水質指標の1つとされており、重量濃度（mg/L）で表されます。SSを多く含む水は透視度が下がり、太陽光が遮られることによって藻類の光合成が阻害されます。

越水 【えっすい】 P94,103,181,252

堤防などの上を超えて水があふれ出すことをいいます。

越流水 【えつりゅうすい】 P208

堤防などの上を超えて流れ出す水のことをいいます。

LED バレイ構想 【えるいーでいーばれいこうそう】 P24

平成17年12月に本県が策定した、「21世紀の光源であるLEDを利用する光（照明）産業の集積」を目指す構想のことをいいます。本県では、工場・研究所等の集積、高度技術者の育成や先端技術の研究開発を行う拠点の形成に向けて取り組んでいます。

塩害 【えんがい】 P72

田畑や電線、コンクリートなどが、塩分に起因して生じる被害を受けることを総称していいます。海に近い地域では、海水に含まれる塩分により塩害を受けやすいです。

沿川農地 【えんせんのうち】 P227

川沿いに位置している農地のことをいいます。川の水の利用のしやすさから川沿いに農地が広がってきましたが、近年では、豊かな自然環境を有する川と連続する農地を利用する生物の生育・生息・繁殖の場として、さらには洪水時の貯留域としてなど、沿川農地が有する様々な機能の活用が進められています。

温室効果ガス 【おんしつこうかがす】 P111,168

地表から放射された赤外線の一部を吸収して、そのエネルギーが大気圏より内側に滞留することにより大気圏内部の気温が上昇する現象を温室効果といい、温室効果をもたらす気体のことを総称していいます。

か 行

カーボンオフセット 【かーぼんおふせつと】 P153

経済活動や日常生活などで、どうしても削減できない二酸化炭素などの温室効果ガスを、他の場所で実施した植林・森林保護・クリーンエネルギー事業による削減活動によって埋め合わせるという考え方です。

海岸保全施設 【かいはんほぜんしせつ】 P8

高潮や波浪等による海水の浸入や海水による侵食から海岸を防護するための施設のことをいいます。施設には、堤防、突堤、陸閘等が挙げられます。

海溝型地震 【かいこうがたじしん】 P99

海側のプレートが陸側のプレートの下に沈み込み、海側のプレートが沈み込む運動によって、プレート境界や内部に蓄積されたひずみが元に戻ろうとする運動によって、海溝沿いで発生する地震のことをいいます。平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震や、本県で大きな被害が発生すると予想されている南海トラフを震源とする地震も海溝型の地震となります。

海水淡水化 【かिसういたんすいか】 P202,210,294

海水を処理して淡水（真水）を作り出すこと、あるいはその設備のことをいいます。日本は世界に比べると水資源に恵まれており、深刻な水不足はあまり発生しませんが、大規模災害時など、水の供給施設などに被害が及んだ場合に、新たな水資源として有効であると期待されています。

外水氾濫 【がिसういはんらん】 P80,86,95,145

河川の堤防から水が溢れる、または破堤して、外水（堤防の川側の水）により家屋や田畑が浸水することをいいます。

海部川清流保全条例 【かいふがわせいりゅうほぜんじょうれい】 P65

海部川の清流を次世代に守り残すため、河川管理者の行う清流保全対策と相まって、町長、事業者、及び町民のそれぞれの責務を明らかにするとともに、海部川の清流保全対策と流域の環境等の愛護に関する必要な事項を定めた海陽町の条例です。

カイフポイント 【かいふぽいんと】 P64

海部川河口部の日本有数のサーフスポットで、条件が良ければチューブと呼ばれる巻き波も生まれ、世界的にも注目されています。

外来生物 【がいらいせいぶつ】 P96,120,239

外来生物法で「海外から我が国に導入されることにより、その本来の生息地または生育地の外に存することとなる生物」と定義されています。一般的には、「外来種」とほぼ同義で用いられています。

家屋倒壊危険区域 【かおくとうかいきけんくいき】 P201

浸水想定区域図に表示されるもので、想定し得る最大規模の降雨により、一般的な建築物（木造2階建てを想定）が倒壊・流失する危険性が高い区域を示しています。この区域では、屋内での垂直避難ではなく、早めの避難所等への水平避難が求められます。

河岸侵食 【かがんしんしょく】 P98

河川内の流れによって川沿いの地盤が洗い流される現象のことをいいます。川沿いの構造物

や建築物などが、河岸侵食によって地盤と共に流失することもあります。

加減堰 【かげんせき】 P137~139

人工的に川幅を狭くすることで下流に流れる水の量を調整（加減）するために造られた河川構造物のことをいいます。

河口 【かこう】 P9,30,44,52,65,69,77,117,132

河川が海や湖など他の水域へ繋がることをいいます。

河床掘削 【かしょうくっさく】 P185

洪水時の水位を低下させるため、河床を掘り下げ、河川の断面積を広げることをいいます。

河川管理施設 【かせんかんりしせつ】

P96,98,163,171,182,183,190,246,250,256,259,263,264,267,271,285,293,295

ダム、堰、水門、堤防、護岸など、河川の治水や利水に効果のある施設です。

河川整備基本方針 【かせんせいびきほんほうしん】 P93

河川の整備についての基本となるべき方針を定めたものです。長期的な観点から、国土全体のバランスを考慮し、基本高水や計画高水流量配分等を科学的・客観的に定めるものです。

河川等出水警戒区域 【かせんとうしゅつすいけいかいいき】 P171,194,293

「徳島県治水及び利水等流域における水管理条例」第22条の災害危険区域を指定した区域を指します。洪水等による浸水被害が発生する恐れのある区域について、河川整備と併せて建築制限を実施します。

渇水被害 【かつすいひがい】 P202,205,219~221

利水者が平常時と同様の取水を行うことができないことにより生じる被害のことをいいます。水道水の給水制限や、農作物の生育不良、工場等の操業停止など、様々な被害があります。

合併浄化槽 【がっぺいじょうかそう】 P231

水洗トイレからの汚水（し尿）と台所・風呂などからの生活雑排水ともに浄化し、きれいな

水にして放流するための設備です。

河道掘削 【かどうくっさく】 P170,173,293

洪水時の水位を低下させるため、河道を掘って、河川の断面積を広げることをいいます。

仮橋 【かりばし】 P68,70

一時的に使用することができる橋のことをいいます。現在では、橋の掛替え工事等に伴う迂回路用の橋、工事用車両等を通行させるための橋などの他、洪水や地震等により橋が被災した場合に架ける応急的な橋などがあります。

川表 【かわおもて】 P174

堤防の川側（水が流れている方）のことをいいます。

かわまちづくり P122,150,155,242

地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、関係機関の連携の下、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す取組です。県内では、吉野川や那賀川、今切川など6箇所を実施されています。

灌漑 【かんがい】 P73,76

水路を作るなど、農作物の生育に必要な水を外部から人工的に供給し、土地を潤すことをいいます。

環境基準 【かんきょうきじゅん】 P116,117

人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、大気、水、土壌、騒音をどの程度に保つのか、施策を実施していく目標を定めた基準のことです。

環境用水 【かんきょうようすい】 P209

水質、景観、親水空間、生活環境や自然環境等の維持、改善等を図ることを目的とした用水のことをいいます。

観光放流 【かんこうほうりゅう】 P241

ダムからの放流を、観光資源として活用することをいいます。ゲートを点検するために行う点検放流の時期を公表することにより、観光客が多く訪れることもあります。

刻みタバコ 【きざみたばこ】 P55

葉タバコを細かく刻んだものをいいます。煙管きせろに詰めて吸います。三好市池田町などでは、幕末から明治にかけて、刻みタバコ産業が繁栄しました。

吃水 【きっすい】 P68

船舶が水に浮かんでいる時の、船体の最下面から水面までの距離（沈む深さ）のことをいいます。

木頭杉 【きとうすぎ】 P69

徳島県西南部の那賀郡、海部郡で産出される材木のことをいいます。過去には、那賀川を利用して下流へ運んでおり、「木頭杉一本乗り」が行われていました。現在では、木頭杉一本乗り大会として伝承が残っています。

基本高水 【きほんたかみず】 P7,93

計画規模の降雨が発生した場合に基準地点で発生する流量のことをいいます。洪水防御の計画を立案するときに基準となる流量です。

急傾斜地崩壊 【きゅうけいしゃちほうかい】 P98

傾きが30度以上ある土地（急傾斜地）が、地中にしみこんだ雨水や地震等によって、突然崩れ落ちる現象のことをいいます。

局所洗掘 【きょくしょせんくつ】 P98,143,174

洪水が河道内を片寄って流れるなどにより早い流れが生じて、河岸等が部分的に深く掘られる現象のことをいいます。

管流し 【くだながし】 P69

河川を利用した木材の輸送方法の一つです。伐採した木を1本ずつ単独で流して、下流へ運ぶことをいいます。

国指定重要文化財 【くにしていじゅうようぶんかざい】 P35,36,39

日本に所在する建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形文化財のうち、歴史上・芸術上の価値の高いもの、または学術的に価値の高いものとして重要なものを、文化財保護法に基づき、文部科学大臣が指定した有

形文化財のことをいいます。

国指定重要有形民俗文化財 【くにしていじゅうようようけいみんぞくぶんかざい】 P58

文化財保護法において、衣食住、生業、信仰、年中行事などに関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術などに用いられる衣服、器具、家屋その他の有形の民俗文化財のうち、特に重要なものとして文部科学大臣が指定したものをいいます。

クラウドデータベース 【くらうどでーたべーす】 P191

インターネットを經由して利用するデータベース（大量のデータを蓄積し、検索が容易にできるように整理された情報の集まり）のことをいいます。クラウドは、インターネットをイメージするものとして雲（cloud）が使用されていた事に由来しています。

グリーンインフラ 【ぐりーんいんふら】 P223,237,294

自然が有する多様な機能（水源かん養や生物生息場の提供、気温上昇の抑制など）を活用し、施設整備や土地利用を進めるものです。

計画高水位 【けいかくこうすい】 P93

河川改修を行う場合に目標として設定される水位のことをいいます。洪水をこの水位以下で安全に流すよう、河道を整備します。

計画津波 【けいかくつなみ】 P99

最大クラスの津波に比べて発生頻度が高く、津波高は低いが大きな被害をもたらす津波のことをいいます。この津波に対して、施設による津波被害発生防止を目標としています。

計画津波高 【けいかくつなみだか】 P183

計画津波が発生した場合に襲来する津波の高さをいいます。

結晶片岩 【けっしょうへんがん】 P9,60

薄くはがれやすい構造（片状組織、片理）をもつ結晶質の変成岩のことを総称していいます。片状組織とは、雲母類や緑泥岩などの薄く板状の鉱物、角セン石や緑レン石などの柱状の鉱物が一定の面に平行に並んだものです。

顕彰碑 【けんしょうひ】 P75

人に知られていない功績や善行などを称えて、広く世間に知らしめるために建てられる石碑などのことをいいます。

源流 【げんりゅう】 P48,67,159,187,273

川の源となる水の流れのことをいいます。吉野川の源流は高知県吾川郡の瓶ヶ森にあり、那賀川の源流は那賀町木頭のジロウギユウにあります。

洪水 【こうずい】

P1,2,7,14,17,34~41,43,46,48,49,69,70,73,76,80~89,95,98,99,103,118,125,126,133,134,136~138,140,141,145,146,156,168,170,173~175,177,179,181,193,195,198,205,245~248,258,263,279,293,295

大雨等により、河川の流量が異常に増大すること、またはその流水のことをいいます。大きな洪水により、河川から増水・氾濫した水によって陸地が水没したり水浸しになる自然災害としても使用されます。

洪水遺産 【こうずいいさん】

P34~38,128,129,278

大規模洪水の教訓や洪水による被害の悲惨な状況を後世に伝えるための遺産のことをいいます。石碑や記念碑、被害の跡が残された建物など多くあります。

洪水浸水想定区域図 【こうずいしんすいそうていくいきず】 P192,201

対象とする河川が、想定最大降雨により氾濫した場合に、浸水が予想される区域を、氾濫シミュレーション結果を元に示した図のことをいいます。ハザードマップの基礎資料として活用されます。

洪水調節 【こうずいちょうせつ】

P94,107,109,125,199

洪水被害を防止するため、ダムや堰において、洪水を貯留して、下流へ流す量を調節（抑制）することをいいます。

洪水調節施設 【こうずいちょうせつしせつ】

P125

洪水流量の一部分を貯め、下流河川の流量を減少させるための施設のことで、治水ダムや調整池、遊水地等のことをいいます。

洪水調節容量 【こうずいちょうせつようりょう】 P136,141,205,240

洪水時に洪水調節を行うための容量のことをいいます。現在、県内で最も洪水調節容量が大きい施設は、1,096万立法メートルある正木ダムですが、長安口ダム改造後は、1,200万立法メートルとなる長安口ダムになります。

洪水吐ゲート 【こうずいばきげーと】

P141,175

ダムのゲートのうち、洪水を放流するための水門のことをいいます。

洪水予報 【こうずいよほう】

P103,172,198,199,248,293

国土交通省または都道府県と気象庁が共同して、あらかじめ指定した河川（洪水予報指定河川）について、河川の増水や氾濫等に対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるよう、水位または流量に関して発表される予報のことをいいます。県内では、吉野川、那賀川、勝浦川で実施しています。

降水量 【こうすいりょう】

P13,21,85,94,110,112

大気から地表に落ちた水が流れ出さずに溜まった水の深さで、単位はミリメートルで表します。雪が降った場合は、雪を溶かして測定します。

高水敷 【こうすいじき】

P134

常に水が流れる低水路より一段高い部分の敷地のことをいいます。平常時にはグラウンドや公園など様々な形で利用されていますが、大きな洪水の時には水に浸かってしまいます。

護岸 【ごがん】

P96,97,138,150~152,172,174,188,189,229,285

堤防や河岸を保護し、河川の流れや波浪や高潮、津波によって地盤や堤防の侵食を防止する工作物をいいます。護岸の基礎の前面に水制を設けたり、コンクリートブロックや捨て石を置

き、これらの施設と一体となって護岸としての機能をもたせることもあります。

さ 行

災害 【さいがい】

P4,18,92~94,99,103,104,111,118,122,125,127,132,138,200,245,257

地震や台風などの自然現象のほか、大規模な火事や爆発などによって、人命や財産、社会などに被害が生じる事態をいいます。災害に対する取組として、未然に防止する防災と、被害を軽減する減災があります。

再生可能エネルギー 【さいせいかのうえねるぎー】

P111,169,202,211

太陽光や水力、風力、バイオマス、地熱などのエネルギーのように一度利用しても比較的短期間に再生が可能で、資源が枯渇しないエネルギーのことをいいます。また、温室効果ガス排出量の抑制にもつながります。

再生水 【さいせいすい】

P110,202,209,220,262,294

通常の下水に施される下水処理に加え、ろ過処理やオゾン処理などさらに高度な処理を行った水のことをいいます。飲料水ほどの水質が求められる水洗トイレ用水、散水、環境用水などの用途に使用し、「中水道」と呼ばれることもあります。

最大クラスの津波 【さいだいくらすのつなみ】

P99

発生頻度はきわめて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波のことをいいます。この津波に対しては、生命を守ることを最優先として、被害の最小化を主眼とする減災の考えに基づき取組を進めています。

境木 【さかいぎ】

P224

境界の印とする立ち木のことをいいます。畑地境界や山林境界の目印として植栽されています。

左岸 【さがん】

P40,41,46,133,134,140

川の上流から下流方向を見た時に、左側にあ

る岸のことをいいます。

砂州 【さす】

P98

河川で見られる砂の堆積地形のことをいいます。河幅と水深の比や、川の曲りの状況によって、形態は異なります。

サバイバルマウンド 【さばいばるまうんど】

P263

災害から命を守る避難のための盛土のことをいいます。

砂防堰堤 【さぼうえんてい】

P208

土石流など上流から流れ出る土砂や石等を受け止め、土砂災害を防止するための施設です。土砂が堰堤に堆積することにより、勾配が緩やかになり、流れが遅くなります。

COD 【しーおーでいー】

P116,117

化学的酸素要求量（かがくてきさんそようきゅうりょう）、Chemical Oxygen Demandの頭文字で表される、水の中の有機物を酸化剤によって酸化されるのに必要な酸素の量であり、湖沼や海域の汚れ具合を測る代表的な指標のことをいいます。この値が大きいほど水は汚れています。

四国三大祭り 【しこくさんだいまつり】

P51

四国で行われる大きな祭りで、徳島県の阿波おどり、高知県のよさこい祭りと愛媛県の新居浜太鼓祭りのことをいいます。

四国のみずべ八十八カ所 【しこくのみずべはちじゅうはっかしょ】

P32,33,61

四国の特性を活かし21世紀に残したい魅力あるみずべ空間、地域が誇ることのできるみずべ空間の創出をテーマに選定された四国の水辺88箇所のことをいいます。県内には、鳴門海峡をはじめ21箇所選定されています。

四国八十八景 【しこくはちじゅうはっけい】

P66

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け、四国を訪れる観光客の増加を図るため、四国らしさの感じられる素晴らしい景観を、四国八十八景実行委員会が88箇所選定したものをいいます。県内ではひょうたん島

クルーズからの眺めや吉野川の風景など21箇所と観光列車からの眺めが選定されています。

地すべり 【じすべり】 P98,142,207

土地の一部あるいは全部が地下水の影響や重力によって、ゆっくりとすべる、または移動する現象のことをいいます。

支川 【しせん】 P5,48,57,63~65,67,80,145,290

河川は、上流から多数の河川が合流し海まで流れますが、本川（幹線）に合流する河川を支川と呼びます。

事前渇水行動計画 【じぜんかつすいこうどうけいかく】 P148,203,221,294

異常な渇水による被害を最小限にとどめるよう、県民・水利使用者などが、とるべき行動と時期を示した計画のことをいいます。「徳島県治水及び水利等流域における水管理条例」第44条に定められています。

事前防災行動計画（タイムライン） 【じぜんぼうさいこうどうけいかく（たいむらいん）】 P172,200,293

災害の発生を前提に、国、地方自治体、企業、住民等の防災関係者が連携し、災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画のことをいいます。

事前放流 【じぜんほうりゅう】 P199

予測雨量に基づいて洪水の発生を予測した場合に、利水者に支障を与えない確実な容量回復が見込める範囲で放流し、事前にダムの貯水位を低下させ、洪水調節として活用できる量を一時的に増やす操作をいいます。

社会資本整備重点計画 【しゃかいしほんせいびじゅうてんけいかく】 P8

社会資本整備重点計画法（平成15年法律第20号）に基づき、社会資本整備事業を重点的、効果的かつ効率的に推進するために策定する計画のことをいいます。

遮水壁 【しやすいへき】 P174

樋門等の河川構造物に沿って浸透する水を遮断することを目的としたコンクリート壁のことをいいます。

11 大橋梁架設計画 【じゅういちだいきょうりょうかせつけいかく】 P70

大正8年の道路法制定にともない、永久橋の架設に国費が支給されることとなり、大正10年に徳島県が策定した橋梁架設計画のことをいいます。

重要水防箇所 【じゅうようすいぼうかしょ】 P156,247,253

洪水時に危険が予想され重点的に巡視点検が必要な箇所のことをいいます。堤防の高さや幅、河道の状況、過去の漏水の状況、橋梁等の工作物の状況から、重要水防箇所を定めています。

重要伝統的建造物群保存地区 【じゅうようでんとうてきけんぞうぶつぐんぼぞんちく】 P54

文化財保護法に規定する文化財のひとつで、城下町、宿場町などの歴史的な集落・町並みを保存する地区です。市町村が条例などにより定めた伝統的建造物群保存地区のうち、特に価値が高いものとして文部科学大臣が選定したものをいいます。

取水施設 【しゅすいしせつ】 P110,203,213,265,294

表流水や地下水といった水源から水を取り入れる施設のことで、取水堰や取水塔などが挙げられます。

取水制限 【しゅすいせいげん】 P105~107,114,217,219

ダムや貯水池等の貯水量が低下した際に、河川等の水源からの取水量を減らすことをいいます。

樹林地 【じゅりんち】 P222,227,294

森林のうち、林木が集团的に生育している土地、及び樹木の所在地のうち樹冠の投影面積が30パーセント以上占めている所のことをいいます。

準用河川 【じゅんようかせん】 P5,30,95

一級河川・二級河川以外の法定外河川のうち、市町村長が指定し管理する河川のことで、河川法に基づき二級河川の規定が準用されます。

小水力発電 【しょうすいりょくはつでん】 P111,130,202,203,208,211,294

小規模な水力発電のことをいいます。小河川、用水路、砂防堰堤、水道施設などで、比較的小さな装置を設置して発電します。

シルトフェンス 【しるとふえんす】 P233

汚濁水の拡散を防止するフェンス・膜のことをいいます。河川や海岸、港湾などの工事での使用のほか、油流出事故などでも使用されます。

人工林 【じんこうりん】 P21,118

人の手によって、苗木の植栽、種まきなどにより造成した森林のことをいいます。材木生産を目的としたスギやヒノキが主に植えられ、材木生産以外では、防風林や防潮林としてマツが植えられています。

親水護岸 【しんすいごがん】 P134,150,151,223,243,294

人が水に親しみ楽しめるよう配慮された護岸のことをいいます。護岸の傾斜を緩くしたり、階段状にするなどして、水辺に近づけるようになっていたり、散策などができるようになっています。

森林環境税 【しんりんかんきょうぜい】 P226

水源かん養などの多面的機能を有する森林を適切に整備していくために徴収する税のことをいいます。課税は平成36年度（2024年度）より行われることになっていますが、課税に先行して平成31年度より、森林環境譲与税として県や市町村に譲与され、取組が行われます。

水位計 【すいけい】 P171,196,203,214,248,293,294

水位を測定する装置のことをいいます。水圧、水面への電波、フロート（うき）などを利用して水位を測っています。また、量水標が設置されていれば、目視でも測定することができます。

水系 【すいけい】 P5~7,68,90,91,93,95,97,105,110,112,114,115,126,148,173~175,206,233,244,291

同じ流域内に流れる本川、支川などをまとめて水系といいます。河川に関わる治水対策や防災対策、水利用を進める中で、水系一貫した管理体系とすることが必要との観点から、水系単位で河川管理を行っています。

水源かん養機能 【すいげんかんようきのう】 P118,223,225

雨水を地中に蓄え、徐々に河川等に流す機能のことをいいます。森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化することにより、洪水を緩和して川の流量を安定させるとともに、土壌を通過することにより水質を浄化します。

水源林 【すいげんりん】 P287

森林の水源かん養機能に着目して整備される森林のことをいいます。貯水機能のほか、木の根や落葉により、川やダムに土砂が流れ込むのを防ぐ働きがあります。

水道施設 【すいどうしせつ】 P26,27,246,260,295

水道のための取水施設、貯水施設、導水施設、浄水施設、送水施設及び配水施設のことをいいます。

水防管理者 【すいぼうかんりしゃ】 P248

水防管理団体である市町村の長、または水防事務組合、水害予防組合の管理者のことをいいます。水防管理団体は、水防団を置くことができます。

水防団 【すいぼうだん】 P125,245,253

水防法に基づき設置される、水防事務を処理する防災組織のことをいいます。水防団の主な活動として、河川巡視、水防工法の実施、住民の避難誘導、水防活動の資機材調達、水防訓練などがあります。水防団員は、特別職地方公務員として活動します。

水門 【すいもん】 P96,97,146,172,182,248

排水や取水をするために、堤防内を横断して

設ける構造物のうち、堤防を分断して水路として設ける構造物のことをいいます。水門は、洪水時にゲートを閉鎖することにより、堤防の役割を果たします。

水利施設 【すいりしせつ】 P262

農業、水道、工業用水等として、水を利用するために必要となる各種構造物や管理するための施設のことをいいます。主なものとして、ダム、取水堰、揚水機場、用・排水路、水路橋などが挙げられます。

薬 【すくも】 P49

藍の葉を乾燥させ、寝床と呼ばれる発酵場所で、水遣りと攪拌を繰り返して作られる藍染めの染料のことをいいます。薬を突き固め、運搬しやすくしたものを藍玉といいます。

スポーツツーリズム 【すぽーつつーりずむ】 P28

スポーツの観戦や参加と開催地周辺の観光を組合せ、スポーツを通じて新しい旅行の魅力を創造し、また、スポーツを支える人々との交流や地域経済への波及なども目指す旅行スタイルのことをいいます。

生活排水処理施設 【せいかつはいすいしよりしせつ】 P231

生活排水中のゴミを取り除いたり、目に見えない小さな汚れ（有機物）を分解したり、様々な過程を経て、きれいな水に近い状態に戻していく施設のことをいいます。下水道施設、集落排水施設、コミュニティプラント、合併処理浄化槽などがあります。

生態系 【せいたいけい】 P109,120,169,171,195,223~240,293,294

植物、動物、微生物の群集と、これを取り囲む非生物環境（水、大気、土、太陽エネルギー）からなり、互いに機能的な一つの集団として作用しあうものをいいます。

生態系サービス 【せいたいけいさーびす】 P120

生態系から得られる恵みのことをいいます。食べ物や木材といったモノだけでなく、精神的充足やレクリエーション機会などの文化的サー

ビス、酸素の生成、水質浄化なども含まれます。これらのサービスは生物多様性によって支えられています。

生態系ネットワーク 【せいたいけいねっとわーく】 P154

豊かな自然環境を有する地域が、生物の移動などによりつながり、配置されていることをいいます。生物多様性の保全のためには、生態系ネットワークが形成されていることが重要です。

生物多様性 【せいぶつたようせい】 P120,169

人も含めた地球上の様々な生物が互いに結びついてバランスが保たれ、様々な差異があることをいいます。生物多様性には「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」という3つのレベルの多様性があります。

堰 【せき】 P72,73,76,77,78,120,257

河川や水路の流水をせき止めるために設けられる構造物です。流水をせき止めることにより、水位が上がり、取水しやすくなります。また、河口では海水が遡上するのを防ぐ、潮止め堰もあります。

洗掘 【せんくつ】 P98,174,252,257

激しい川の流れや波浪によって、堤防や河岸、河床が削られる現象のことをいいます。削られたところが拡大すると堤防の破堤を引き起こし、甚大な被害発生の恐れがあります。

全国水の郷サミット 【ぜんこくみずのさとさみっと】 P30

水をめぐる地域間交流の促進や、水環境・水文化等に対する意識のさらなる高揚を目的に開催されるサミットのことをいいます。平成21年には徳島市で開催されました。

線状降水帯 【せんじょうこうすいたい】 P94

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる強い降水をともなう雨域のことをいいます。

潜水橋 【せんすいきょう】 P44,71

平常時に水が流れている低水路部に架橋し、高水敷を通過して川を渡る橋になります。洪水時には、水中に潜ってしまいます。吉野川には、現在も8橋架かっています。

選択取水設備 【せんたくしゅすいせつび】 P141,142

貯水池の深さによって水温や濁りが異なる水を、下流の環境や目的によって取水する深さを変えることができる設備のことをいいます。環境への影響が少ない層から取水し、放流することにより、下流の水環境の改善を図ることができます。

送水施設 【そうすいしせつ】 P213

水道用水を浄水場から配水池へ送る施設のことを総称していいます。送水管・制御室・調整池・中継所・テレメータ室などから構成されています。

た 行

体験型観光 【たいけんがたかんこう】 P163,267,288,295

見るだけの観光ではなく、五感で体験する観光のことをいいます。県内には、藍染め体験やラフティングなど、様々な体験型観光があります。

耐震診断 【たいしんしんだん】 P183

構造物等の耐震性能を調査し、想定される地震に対する安全性、被害の程度等を判定することをいいます。

高潮 【たかしお】 P8,17,80,81,83,89,95,99,182

台風や発達した低気圧によって起こる気圧の急変や強風が原因で、海面の高さ(潮位)が上昇する現象のことをいいます。気圧が1ヘクトパスカル下がると海面がおおよそ1センチメートル高くなるほか、強い風が沖から海岸に向かって吹くことで発生します。

滝水御番 【たきみずごばん】 P53

江戸時代後期に眉山の麓の湧き水を管理、警

備をするために設置された番人、役職のことをいいます。

多自然川づくり 【たしぜんかわづくり】 P120,223,236

生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、植生が繁茂する護岸や、水制などにより、河川が本来有する河岸や、瀬、淵を保全・再生し、あわせて美しい自然環境を保全・創出する川づくりのことをいいます。

ダム 【だむ】 P61,64,77~79,92,98,105,107~110,114,120,132,140,142~144,148,155,175,187,202,204~207,217,218,221,234,240,256,257,271

河川法では、河川の流水を貯留し、又は取水するための構造物で、基礎地盤から堤頂までの高さが15メートル以上のものをいいます。県内には、16のダムがありますが、すべてコンクリートダムです。

ダム貯水率 【だむちよすいりつ】 P148,203,221,294

ダムの貯水量と、ダム運用計画上設定される利水容量の割合のことをいいます。渇水時にはダム貯水率に応じて、取水制限などの取組を行っています。

ため池ハザードマップ 【ためいけはざーどまっぷ】 P215

地震や大雨によりため池の堤防が壊れた場合に備えて、被害の想定区域や避難場所等を表示した地図のことをいいます。

太夫座 【たゆうざ】 P50

浄瑠璃語りの太夫や三味線が演奏する舞台の隣に設けられた語り部屋のことをいいます。

地下水 【ちかすい】 P26,110,119,120,202,209,223,228,229,235,262,294

雨が地盤内に浸透し、地中の間隙を満たしている水のことをいいます。様々な用水に利用されています。

地下水かん養 【ちかすいかんよう】 P119,235

雨が地盤内にゆっくりと浸透し、地下水となることをいいます。かん養機能が高い田畑や林

地が、市街地では減少しています。

治山堰堤 【ちさんえんてい】 P208

治山事業に基づき設置されるダムのことをいいます。荒廃した溪流などの傾斜を緩くし、山裾の侵食を防ぎます。

治水 【ちすい】

P2,4,34,37,38,40,42,46,64,73,74,77,80,132,137,139,143,145,160,165,169,170,172~201,204,205,222,226,273,276,281,293

洪水などによる被害を防ぎ、生命や財産を守る取組をいいます。

治水ダム 【ちすいだむ】 P80

治水を目的としたダムのことをいいます。

治水容量 【ちすいようりょう】 P170,175,293

洪水調節容量のことを指し、洪水時に洪水調節を行うための容量のことをいいます。平常時最高貯水位（常時満水位）から洪水時最高水位（サーチャージ水位）までの容量になります。

中央構造線活断層帯 【ちゅうおうこうぞうせんかつたんそうたい】 P2

近畿地方の金剛山地の東縁から、和泉山脈の南縁、淡路島南部の海域を経て、四国北部を東西に横断し、伊予灘、別府湾を経て由布院までの断層帯のことをいいます。県内での最新活動は、16世紀以後であったと推定されています。

チューブライド 【ちゅーぶらいど】 P65

チューブ状に巻いている波の中に入り、サーフボードに乗って滑走することをいいます。

直下型地震 【ちよっかがたじしん】 P2

内陸部にある活断層で発生する、震源の浅い地震のことをいいます。規模は小さくても、発生する場所が浅く、揺れが大きくなりやすいため、被害が大きくなりやすく、平成7年兵庫県南部地震や平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震が該当します。

津波 【つなみ】

P17,47,99,100,127,145,171,183,195,245~247,255,258,295

海底地震や海底火山の爆発、山崩れなどが原

因となって起こる波長の長い波のことをいいます。

堤防 【ていぼう】

P34,37,40,41,43,46,93,94,96,97,99,125,133,134,145,146,173,174,183,188,189,258

一般的に、河川の流水が河川外に流出することを防止するための、土等で築造した最も重要な河川管理施設のことをいいます。

デルタ地帯 【でるたちたい】 P6

河川で運ばれた土砂が河口付近に堆積し、堆積した土砂を避けて川が流れることにより形成された地形のことをいいます。地形の形状がデルタ（Δ）に似ていることから、デルタ地帯と呼ばれますが、三角州とも呼ばれています。

天井川 【てんじょうがわ】 P5

河床が周辺の地盤よりも高くなった川のことをいいます。普段は堤防で守られていますが、天井川が氾濫すると、川に水を戻しにくいいため被害が大きくなります。

天端 【てんぱ】 P46,140,181

ダムや堤防などの一番高い部分のことをいいます。堤防の天端幅については、計画高水流量に応じて3メートル以上と定められています。堤防を浸透する水に対して安全な堤防断面幅を確保することの他に、河川巡視または洪水時の水防活動などに使用する河川管理用道路のためにも、必要な幅を設けています。

天文潮位 【てんもんちょうい】 P84

満潮・干潮、大潮・小潮などのように月や太陽の起潮力によって変化する現象（天文潮）を予測した潮位のことをいいます。長期にわたる精度の良い観測データがある地点では、高い精度で予測することが出来ます。

透水性舗装 【とうすいせいほそう】 P177,228

透水機能を有する空隙率の高い素材で、地中に雨水を浸透させる構造とした舗装のことをいいます。

とくしま藍の日 【とくしまあいのひ】 P49

県民の藍に対する関心と理解を深め、本県の藍に関する文化の継承及び産業の振興を図り、

あわせて国内外に向けたその魅力の発信に資するため設定された日で、7月24日になります。

とくしま県版保安林 【とくしまけんばんほあんりん】 P225

森林の有する水資源及び県土の保全機能の維持増進を図るため、特定の行為を制限して管理すべき森林のことをいいます。

とくしま人口ビジョン 【とくしまじんこうびじょん】 P16

本県の2060年頃を見据えた将来展望を示したビジョンをいいます。人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有するとともに、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示しています。

とくしまマルシェ 【とくしままるしえ】 P31,32,151,163,164,242

徳島市東船場町の新町川沿いにあるしんまちボードウォークで毎月最終日曜日に開催される産直市のことをいいます。白いパラソルが軒を連ね、多くの人で賑わっています。

とくしま水紀行 50 選 【とくしまみずきこうごじゅっせん】 P32,61

徳島県が選定した徳島県内の名水の50選のことをいいます。江川の湧水や眉山麓の湧水である錦竜水も選定されています。

とくしま林業アカデミー 【とくしまりんぎょうあかでみー】 P21,226

豊かな森林を守り育て、計画的に県産材を増産するために、平成28年4月に現場の即戦力となる人材を育成することを目的として設置したアカデミーのことをいいます。

土佐流材 【とさりゅうざい】 P69

吉野川上流域（高知県長岡郡本山町白髪山）は土佐ヒノキの産地で、かつてこの地域で伐採された材木は、吉野川を利用して河口まで流し、大阪等へ運ばれていました。この木材を土佐流材といいます。

土砂生産域 【どしゃせいさんいき】 P98

風化、侵食、崩壊や地すべりなどによって、土砂が作られる区域のことをいいます。

土石流 【どせきりゅう】 P98

山や谷にある土砂や石などが長時間の雨や集中豪雨によって、一気に下流へ押し流される現象のことをいいます。山津波とも呼ばれ、勾配の急な箇所が発生しやすいです。

突堤 【とつてい】 P187

砂が横に流されるのを防ぐ目的で、一定の間隔で海岸線に直角に設置された構造物のことをいいます。沿岸に並行に生じる海浜流を制御するとともに、砂浜の侵食を抑え、漂砂を捕獲する効果を持っており、養浜の手法として用いられています。

土のう 【どのう】 P251,258

袋の中に土砂を詰めて用いる資材のことをいいます。土のうを積み上げることで、水の浸入や土砂の流出入を妨げることができます。内容を土ではなく、水にしたものを水のうといいます。水のうは、大きなゴミ袋と水であれば作成できます。

な 行

内水氾濫 【ないすいはんらん】 P80,86,88

洪水時には、川の水位が高くなり、内水（堤防で守られた居住地側の水）が川へ排水できなくなることや、側溝や下水道や排水路だけでは流しきれなくなることがあります。このように、内水の排水が処理しきれなくなり、建物や土地・道路が浸水することをいいます。

内陸型地震 【ないりくがたじしん】 P99

陸側のプレート内部で岩盤が破壊されて発生する地震のことをいいます。海溝型地震と比べると規模が小さいことが多いですが、震源が浅い場合には大きな被害をもたらします。

二級河川 【にきゅうかせん】 P6,95

国土保全上または国民経済上、特に重要な水系（一級水系）以外の水系で、公共の利害に重要な関係があるものに係る河川で、河川法による管理を行う必要があり、都道府県知事が指定した河川のことをいいます。

二次災害 【にじさいがい】 P126

災害発生後、それに派生して生じる別の災害のことをいいます。災害が発生すると被災地は、平常時よりも様々な機能が低下していることがあり、そこから災害が発生することがあります。このような二次災害に対しても事前に対策しておくことが重要になっています。

日本三大盆踊り 【にほんさんだいぼんおどり】 P51

徳島県の阿波おどり、岐阜県の郡上（ぐじょう）おどり、秋田県の西馬音内（にしもない）盆踊りのことをいいます。

日本の重要湿地 500 【にほんのじゅうようし
っちごひやく】 P61,120

ラムサール条約登録に向けた基礎資料とすることや生物多様性の観点から重要な湿地を保全することを目的に、環境省が選定した500箇所の重要湿地のことをいいます。県内では、黒沢湿原など13箇所が選定されています。

日本の滝百選 【にほんのたきひやくせん】 P32,33,63

平成2年（1990年）に全国公募より選定された100の滝のことをいいます。県内からは、大釜の滝、轟九十九滝、雨乞の滝の3滝が選定されています。

日本の渚百選 【にほんのなぎさひやくせん】 P63

日本の渚百選中央委員会が平成8年（1996年）に選定した100の渚のことをいいます。県内からは、北の脇海岸、大浜海岸が選定されています。

人形座 【にんぎょうざ】 P50

人形芝居を行う一座のことをいいます。人形浄瑠璃が盛んに行われていた明治中期には、徳島の人形座は70座あったとされています。

人間システム 【にんげんしすてむ】 P12

ライフスタイル、健康、価値規範などから構成される、人間自身の生存を規定する諸要素の総体のことをいいます。

根固 【ねがため】 P96

洪水時に河床の洗掘が著しい場所において、河床洗掘による護岸の被災防止のため、護岸基礎の前面に、玉石・コンクリートブロックなどで覆って固めることをいいます。

農村舞台 【のうそんぶたい】 P28,50,51,128

歌舞伎や人形浄瑠璃、芝居など様々な芸能を演じることのできる、農山漁村の神社の境内等にある舞台のことをいいます。村の鎮守の神社では、豊作祈願や豊作感謝の祭りが行われ、農民は供え物に加え、歌や踊りなどの芸能を奉納していました。この奉納芸が、盆踊りから人形芝居に移行することにより、農村舞台ができました。

法尻 【のりじり】 P181

切土や盛土の斜面を指す法面の最下部のことをいいます。

法面 【のりめん】 P174

切土や盛土によって作られる人工的な斜面のことをいいます。

は 行

排水機場 【はいすいきじょう】 P97,125,137,170,178,182,188,194,248,256,259

洪水時に水門等が閉鎖された後、降雨等によって流入してくる河川水、都市排水、農地排水をポンプによって強制的に排除することを目的とした施設のことをいいます。

排水ポンプ車 【はいすいぼんぷしゃ】 P99,131,161,180,246,249,276

台風や豪雨などによる、住宅地の浸水や道路の冠水時に、排水作業を実施する車のことをいいます。災害の状況に応じて、ほかの地域の要請に基づき広域的な支援活動を行います。

パゴダ 【ぱごだ】 P53

仏教建築における塔のことをいいます。眉山公園内にある平和記念塔パゴダは、円錐形ドームのビルマ様式で、第二次世界大戦時の戦没者慰霊のために建立されました。

ハザードマップ 【はざーどまっぷ】
P103,158,192,200,201,215,286

自然災害による被害を予測し、被災想定区域や被害の程度、さらには避難場所・避難経路等の防災情報等を表示した地図のことをいいます。災害による被害軽減・防止のためのソフト対策として、様々な災害を想定したハザードマップを作成し、活用されています。

バックビルディング現象 【ばっくびるでいんぐげんしょう】
P94

線状降水帯の発生要因のひとつで、発達した積乱雲が次々に発生する現象のことをいい、1時間に100ミリメートル程度の猛烈な雨を比較的広範囲に降らせ続けます。その発生時間や場所を予測するのは、現在難しいとされています。

原土 【はらし】
P72

徳島藩の半農半士のことをいいます。江戸時代、武士の身分のまま農業に従事したものを指す「郷土」の中のひとつで、徳島藩独自の身分制度です。

氾濫危険水位 【はんらんきけんすい】
P87,93

洪水による堤防の決壊や、無堤部からの浸水により家屋浸水等の被害が発生する恐れのある水位のことをいいます。この水位に到達する前に避難が完了しておくことが求められます。

氾濫原 【はんらんげん】
P36,170

洪水などによって河川が氾濫し、運ばれてきた土砂などが堆積した平野のことです。また、洪水時に浸水する区域を指すこともあります。氾濫原では、浸水のリスクが高くなっています。

氾濫シミュレーション 【はんらんしみゅれーしょん】
P247

洪水が発生し、堤防が決壊した場合に、どのように浸水するかを予測したものをいいます。河川改修や洪水防御施設の整備事業の検討や、災害時の避難方法の検討を実施する際の基礎資料となります。

BOD(生物化学的酸素要求量) 【びーおーでいー(せいぶつか)がくてきさんそようきゅうりょ

う)】
P116,117,230

水の中の有機物が微生物によって分解されるのに必要な酸素の量のことをいいます。河川の汚れ具合を示し、この値が大きいほど水は汚れています。

ヒートアイランド 【ひーとあいらんど】
P122,237

都市の気温がその周辺の郊外部よりも高くなる現象のことをいいます。気温分布図を見たときに島のような形状となることから、このように呼ばれています。都市化の進展に伴って、ヒートアイランド現象は顕著になりつつあり、熱中症等の健康への被害や、感染症を媒介する蚊の越冬といった生態系の変化が懸念されています。

避難確保計画 【ひなんかくほけいかく】
P103,104,158,171,193,293

洪水や津波などの浸水想定区域内等にある要配慮者利用施設（社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設）において、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保を図るための計画のことをいいます。「洪水」・「土砂」・「津波」等の発生を想定し作成します。

樋門 【ひもん】
P96,97,134,137,140,182,183

用水の取水や内水の排除などを目的として、堤防内部に暗渠を設ける通水路と門のことです。

ひょうたん島 【ひょうたんじま】
P30,31,32

徳島市中心部の新町川・助任川・福島川に囲まれている、空から見るとひょうたん形状に見える中洲のことをいいます。

表流水 【ひょうりゅうすい】
P26

河川に流れる水のように地表面にあるものをいいます。取水が容易で量が確保しやすいため水道水源として優れていますが、汚染されやすいといった一面もあります。

平田船 【ひらたぶね】
P68,69

和船の一種であり、船底を平たくした丈長の川船のことをいいます。大きさ・形も様々で、

各地の河川で水上交通手段として使われていました。

日和佐うみがめ博物館カレッタ 【ひわさうみがめはくぶつかんかレッタ】 P63

美波町にある世界でも珍しいとされる、ウミガメに関する博物館のことをいいます。館名の「カレッタ」はアカウミガメの学名に由来します。

ファミリータイムライン 【ふぁみりーたいむらいん】 P200

事前防災行動計画のうち、洪水時における避難のタイミングと、家族や隣近所が取るべき行動を時系列に整理した計画のことをいいます。

深掘れ 【ふかぼれ】 P96

激しい流れにより、土が深く削り取られる現象のことをいいます。

複合災害 【ふくごうさいがい】 P127,246,258,295

同種あるいは異種である複数の災害が、ほぼ同時または時間を置いて発生することをいいます。複合災害の事例として、地震が発生した後の津波襲来、風水害と土砂災害の発生などが挙げられます。

不特定容量 【ふとくていようりょう】 P109,142

ダム貯水池の容量はその用途に応じて割り当てられますが、そのうち、既得の用水や河川の維持のために必要な流量に達しないとき、その不足流量を補うための容量のことをいいます。

フラッシュ放流 【ふらっしゅほうりゅう】 P222,234,294

ダムの下流域の河川環境を改善するため、短時間に放流量を増加させ掃流力を高める放流のことをいいます。一時的に人工の小規模洪水を発生させ、よどみや河床の堆積物などを流します。

分水嶺 【ぶんすいれい】 P5

雨水が異なる方向に流れ、水系の境界となる山の尾根を指しています。分水界、分水線、分水境界とも言われ、平野部などにも分水界は存

在しますが、特に山地域では山稜が境界となるので分水嶺と呼ばれています。

平成の名水百選 【へいせいのめいすいひゃくせん】 P32,33

平成20年に環境省が、名水百選に加えて選定した全国各地の100か所の名水のことをいいます。併せて200選となっています。平成の名水百選では、海部川が選定されました。

pH(水素イオン濃度)【ペーはー(すいそいおんのうど)】 P230

酸性・アルカリ性の度合い(強さ)を表すのに用いられます。pH 7が中性で、それより小さいと酸性、大きいとアルカリ性を示します。

壁面緑化 【へきめんりょっか】 P223,237

建物への日射の遮断、景観の向上などを目的として、つる植物を這わせたり、植物を植え込んだパネルやポットを取り付けたりして建物の外壁を緑化することをいいます。二酸化炭素削減やヒートアイランド対策、人に安らぎと心地よさを与えるなどの効果があります。

防災エキスパート制度 【ぼうさいえきすぱーとせいど】 P250

地震や風水害等による大規模災害発生時において、被災状況等の把握や応急対策の検討等を行い、被災地域の早期復旧等を図ること、また、防災減災対策等の支援のため、公共土木施設等の整備・管理等に豊富な経験を持つ人々を「防災エキスパート」として登録する制度のことをいいます。

防災教育 【ぼうさいきょういく】 P130,131,267,284,295

地震、台風などの自然災害や防災についての知識、日頃の備えや災害時等にとるべき行動などを習得することに加えて、地域の連携を強化し、防災力を向上させることをいいます。

放置艇 【ほうちてい】 P126,233,245,255,295

水域管理者により認められた場所以外に、正当な権原に基づかずに係留等されている船舶、または、認めた場所で手続きを経ずに係留している船舶のことをいいます。

放流能力 【ほうりゅうのうりょく】
P136,170,175,293

ダム貯水池内に貯留された流水を、下流に流すことができる水の量のことをいいます。近年、既設ダムを対象に、低い貯水位時の放流能力増強等のために、放流設備の増設等が実施されています。

ホットライン 【ほっとらいん】 P125

もともとは、政府首脳間で非常時に直接対話ができるように設置された直通の通信線のことでしたが、現在は、直通電話を指すようになりました。洪水時に、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断材料として、河川管理者が市町村長等へ直接河川情報を伝達するホットラインの開設・運用に取り組んでいます。

本川 【ほんせん】 P5,P40,P73,P80,P145,P290

河川は、上流から多数の河川が合流して海まで流れますが、その河川の中で、流量、長さ、流域の大きさなどにより、最も重要と考えられる河川のことをいいます。

ま 行

マスタープラン 【ますたーぷらん】 P4,228

全体の方向付けを示す基本計画や基本設計のことで、対象とする期間も長期的になります。マスタープランに基づき、より短期的で具体的な内容を示した計画などが作成されることがあります。

濡筋 【みおすじ】 P96,98

河川を横断的に見たときに深い部分を通る(流れる)道筋のことです。

水管理 【みずかんり】
P2,4,8,80~131,148,165~170,202,203,213,222,266,267,273,283,291,294

健全な水循環(人の活動と環境保全に果たす水の機能が適切に保たれた状態の水循環)を実現するための水の管理のことをいいます。

水教育 【みずきょういく】
P80,128,129,159,163,165,169,170,266~289,295

水に関わる労苦の歴史や文化、健全な水循環の重要性に対する県民の理解と関心を深め、次世代へ継承するため、家庭や学校、地域などで行われる、治水、利水、水環境及び環境、災害対応などの水に関する教育や啓発活動のことをいいます。

水資源賦存量 【みずしげんふそんりょう】
P112~115

理論上、人間が最大限利用可能とされる水量のことで、降水量から蒸発散量を引くことによって算出されます。

水循環 【みずじゅんかん】
P1,2,4,12,80,93,94,112,115,118,120,129,150,165,169,170,177,209,219,222~224,266,269,270,294,295

水が、蒸発、降下、流下又は浸透により、海域等に至る過程で、地表水、地下水として河川の流域を中心に循環することをいいます。人間はこのような循環のうち、河川や湖沼等の水として存在する淡水を、主に利用しています。

水文化 【みずぶんか】
P266,273,278,281~283,295

地域の人々が水を利用、制する中で生み出された有形無形の文化や伝統のことをいいます。祭事や信仰、伝統工芸、水車や堰等の施設、水を中心とした生活パターンや生活様式などを指します。

ミズベリング 【みずべりんぐ】 P122

「水辺+ RING(輪)」、「水辺+ ING(進行形)」、「水辺+ R(リノベーション)」の造語で、かつての賑わいを失ってしまった水辺の新しい活用の可能性を創造していくために、水辺に対する社会の関心を高め、様々な立場から参画を得るための取組みのことをいいます。

水屋 【みずや】 P36

様々な意味がありますが、ここでは水害時の避難場所として高い場所に作られた家屋のことをいいます。

水除け争い 【みずよけあそい】 P41

洪水による浸水を少しでも軽減するために、

川の両岸で、堤防の築造とその高さをめぐって続いた紛争のことをいいます。

民俗文化財 【みんぞくぶんかざい】 P50,58

風俗習慣、民俗芸能、民族技術やそれらに用いられる衣服、器具など、日常生活の中で生み出し、継承してきた有形・無形の伝承で人々の生活の推移を示すものです。現在、県内には、国指定重要有形民俗文化財は7件、国指定重要無形民俗文化財は3件指定されています。

民有林 【みんゆうりん】 P21,119

国有林以外の森林のことをいいます。民有林には、県や市町村などが所有する公有林、個人、企業などが所有する私有林があります。

無形文化財 【むけいぶんかざい】 P50,55

演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で、歴史上または芸術上価値の高いものをいいます。

撫養石 【むやいし】 P36

鳴門市撫養から採掘される和泉砂岩で、加工しやすく、墓石や石臼などにも利用されています。吉野川の氾濫から生命や財産を守るため、流域には撫養石を積み地盤を高くした家が見られます。

名水百選 【めいすいひゃくせん】 P32,33,59

昭和60年（1985年）に環境庁（現・環境省）が選定した全国各地の100か所の湧水や河川等のことをいいます。県内では、江川の湧水と剣山御神水が選定されています。

や 行

有効貯水容量 【ゆうこうちよすいようりょう】 P98

ダムに貯まる土砂の容量を除いて、ダムに貯めることができる水の容量のことをいいます。

湧水 【ゆうすい】 P33,48,59,60,118,202,209,294

地表に自然に湧いてきた水のことをいいます。県内には、眉山麓の湧水をはじめ、多くの湧水があります。

遊水池 【ゆうすいち】 P44

洪水を一時的に貯留し、下流へ流れる量を減少させる土地のことをいいます。

要配慮者利用施設 【ようはいりょしやりょうしせつ】 P103,104,157,193

社会福祉施設、学校、医療施設等の防災上の配慮を要する者が利用する施設のことをいいます。

養浜 【ようひん】 P185,187

侵食され、砂が流出している海岸線に砂を供給することです。養浜により砂浜が創出されることで消波効果やレクリエーションとしての利用が期待されます。

予備放流 【よびほうりゅう】 P136,141,175

洪水の発生が予測される場合に、ダムにおいて、平常時は利水のために貯水している容量を放流して洪水調節のために必要な容量を確保することをいいます。

ら 行

ライフライン 【らいふらいん】 P94,100,122,127,130,134,210,258

電気、ガス、水道等の公共公益設備、電話やインターネット等の通信設備、鉄道やバス等の公共交通機関等、日常生活や生命の維持に必要なシステム、インフラのことを総称していいます。地震などの災害時に被害を受けたときの社会的影響が深刻であることから、防災・減災対策が進んでいます。

リアス式海岸 【りあすしきかいがん】 P63

狭い湾が複雑に入り込んだ、海面が上昇または陸地が沈下してできた沈水海岸のことをいいます。その地形特性から、外海に比べ波風が穏やかな良港となっている他、養殖にも適しており、昔から漁業を中心とした集落が形成されています。一方で、津波襲来時には、波が増幅され他の地域よりも波高が高くなり大きな被害をもたらす場合があります。

離岸堤 【りがんてい】 P187

波の勢いを弱めるために、沖に海岸線と平行に作られる構造物のことをいいます。海岸の砂が波によって沖に流出するのを防ぐ効果もあります。

**利水 【りすい】
P1,2,4,34,64,72,77,80,105,109,143,148,160,165,
170,202,205,206,226,273,294**

水道、工業、農業などのために水を利用することをいいます。

**利水安全度 【りすいあんぜんど】
P109,136,142**

渇水に対する取水の安全性を示し、何年に一度の規模の渇水に対してまで安定的に取水可能かを示しています。

**利水サポート団体 【りすいさぽーとだんたい】
P149,203,220,294**

「徳島県治水及び利水等流域における水管理条例」で位置づけられた新たな組織で、国や県などの行政機関と連携して、節水や渇水対策の推進に取り組む団体のことをいいます。

**利水容量 【りすいようりょう】
P105,142,202~207,294**

水道、工業、農業用水、流水の正常な機能の維持等に利用する水を貯めるための容量のことをいいます。

陸閘 【りっこう】 P183

堤防や胸壁の間に設置される構造物で、閉鎖することによって、水の浸入を防止し、開放することで人や車両等が通行できるようになっています。

リバーアドプト 【りばーあどぷと】 P189

河川を対象としたアドプト・プログラムのことです。地域のボラティア団体等と行政が協力して、河川のある一定の範囲をボランティア団体等が清掃し、行政はそれを支援するものです。

**流域 【りゅういき】
P1,2,4,5,9,19,34,36~39,41,50,51,55,59,64,68,69,72
~74,86,96,120,129,144,154,165,171,195,217,223,2**

39,266,272,291,293,295

河川に流れ込む雨水が集まる範囲のことで、分水界で囲まれています。

**流域ツーリズム 【りゅういきつーりずむ】
P163,267,288,295**

流域の特徴ある魅力的な場所を訪れ、散策したり、遊覧船で周遊するなど体感し、流域を楽しみ巡る取組のことをいいます。

**流水エネルギー 【りゅうすいえねるぎー】
P202,208,211,294**

河川や水路では、重力によって下流に向かって流れ、工場排水などは人工的に流れを作りだしており、その水の流れによって産まれる力のことをいいます。

レッドリスト 【れっどりすと】 P120,121

絶滅するおそれのある野生生物の種のリストのことをいいます。日本では環境省のほか、地方公共団体やNGOなどが作成しています。本県においても徳島県版レッドリストを作成しており、最新の自然環境や、学術的知見の蓄積を踏まえ、適宜改訂しています。

漏水 【ろうすい】 P97,174,252

長時間の洪水や雨水によって堤防内部に水が浸透し、堤内地（居住地側）に流出する現象のことや、管などから水が漏れることをいいます。

6次産業化 【ろくじさんぎょうか】 P22

一次産業である農林漁業者が、生産だけでなく、加工食品の製造・販売や地域資源を生かしたサービスなど、一次産業から三次産業まで行うことをいいます